

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2004-321779(P2004-321779A)

【公開日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2003-432509(P2003-432509)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上流側の貯留タンクから導出された遊技球を流下させる流路を備え、下流側に設けられた払出手御部に対して遊技球を供給する樋状のタンクレールと、

前記流路の上部において揺動可能に配置され、この流路を流下する遊技球に接触することにより遊技球の団塊をならす球ならし部と、

この球ならし部が揺動可能に取り付けられると共に、貯留タンク、タンクレール、機構板等の遊技機の裏機構を構成する裏機構構成部品に対し着脱可能に取り付けられる球ならし部取付部材とを備え、

この球ならし部取付部材が前記裏機構構成部品に固定された状態で、この球ならし部取付部材に対し前記球ならし部が着脱可能とされ、

さらに、前記裏機構構成部品に対する前記球ならし部取付部材の取付位置を変更可能に設定する取付位置可変設定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

上流側の貯留タンクから導出された遊技球を流下させる流路を備え、下流側に設けられた払出手御部に対して遊技球を供給する樋状のタンクレールと、

前記流路の上部において揺動可能に配置され、この流路を流下する遊技球に接触することにより遊技球の団塊をならす球ならし部と、

この球ならし部が揺動可能に取り付けられると共に、貯留タンク、タンクレール、機構板等の遊技機の裏機構を構成する裏機構構成部品に対し着脱可能に取り付けられる球ならし部取付部材とを備え、

前記球ならし部取付部材の一部が係合部として形成され、この係合部が前記球ならし部に形成された被係合部と係合することにより前記球ならし部が前記球ならし部取付部材に対して取り付けられるようになっており、

かつ、前記係合部と前記被係合部の少なくともいずれか一方が、係合位置と係合解除位置との間で弾性変形可能に形成されており、

さらに、前記裏機構構成部品に対する前記球ならし部取付部材の取付位置を変更可能に設定する取付位置可変設定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するための有効な手段とその作用・効果を以下に示す。

手段1. 上流側の貯留タンクから導出された遊技球を流下させる流路を備え、下流側に設けられた払出制御部に対して遊技球を供給する樋状のタンクレールと、

前記流路の上部において揺動可能に配置され、この流路を流下する遊技球に接触することにより遊技球の団塊をならす球ならし部と、

この球ならし部が揺動可能に取り付けられると共に、貯留タンク、タンクレール、機構板等の遊技機の裏機構を構成する裏機構構成部品に対し着脱可能に取り付けられる球ならし部取付部材とを備え、

この球ならし部取付部材が前記裏機構構成部品に固定された状態で、この球ならし部取付部材に対し前記球ならし部が着脱可能とされ、

さらに、前記裏機構構成部品に対する前記球ならし部取付部材の取付位置を変更可能に設定する取付位置可変設定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

手段1(即ち請求項1)のように構成すれば、使用状況に応じて球ならし部の調整・交換が行いやすく、かつ着脱に伴う裏機構構成部品に対する損傷や破損などの問題を解決しうる構成となる。また、裏機構構成部品に対して球ならし部取付部材の位置調整が可能となり、使用状況に応じて(使用する球のすべり具合や球圧などに応じて)最適位置に設定することが可能となる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

手段2. 上流側の貯留タンクから導出された遊技球を流下させる流路を備え、下流側に設けられた払出制御部に対して遊技球を供給する樋状のタンクレールと、

前記流路の上部において揺動可能に配置され、この流路を流下する遊技球に接触することにより遊技球の団塊をならす球ならし部と、

この球ならし部が揺動可能に取り付けられると共に、貯留タンク、タンクレール、機構板等の遊技機の裏機構を構成する裏機構構成部品に対し着脱可能に取り付けられる球ならし部取付部材とを備え、

前記球ならし部取付部材の一部が係合部として形成され、この係合部が前記球ならし部に形成された被係合部と係合することにより前記球ならし部が前記球ならし部取付部材に対して取り付けられるようになっており、

かつ、前記係合部と前記被係合部の少なくともいずれか一方が、係合位置と係合解除位

置との間で弾性変形可能に形成されており、

さらに、前記裏機構構成部品に対する前記球ならし部取付部材の取付位置を変更可能に設定する取付位置可変設定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

手段2（即ち請求項2）のように構成すれば球ならし部と球ならし部取付部材を係合により取り付けることが可能となり、取付に関し特別な部品（例えばねじ等）を設ける必要がなくなると共に、球ならし部の交換が行いやすい構成となる。そして、このように弾性変形によって係合する部品を用いて取りつけると着脱の頻度によっては破損する虞があるが、球ならし部取付部材が裏機構構成部品に対して着脱可能に構成されているため、このように破損可能性のある構成であっても安価にメンテナンスできることとなる。また、裏機構構成部品に対して球ならし部取付部材の位置調整が可能となり、使用状況に応じて（使用する球のすべり具合や球圧などに応じて）最適位置に設定することが可能となる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

<請求項1の発明>

請求項1のように構成すれば、使用状況に応じて球ならし部の調整・交換が行いやすく、かつ着脱に伴う裏機構構成部品に対する損傷や破損などの問題を解決しうる構成となる。また、裏機構構成部品に対して球ならし部取付部材の位置調整が可能となり、使用状況に応じて（使用する球のすべり具合や球圧などに応じて）最適位置に設定することが可能となる。

<請求項2の発明>

請求項2のように構成すれば、球ならし部と球ならし部取付部材を係合により取り付けることが可能となり、取付に関し特別な部品（例えばねじ等）を設ける必要がなくなると共に、球ならし部の交換が行いやすい構成となる。そして、このように弾性変形によって係合する部品を用いて取りつけると着脱の頻度によっては破損する虞があるが、球ならし部取付部材が裏機構構成部品に対して着脱可能に構成されているため、このように破損可能性のある構成であっても安価にメンテナンスできることとなる。また、裏機構構成部品に対して球ならし部取付部材の位置調整が可能となり、使用状況に応じて（使用する球のすべり具合や球圧などに応じて）最適位置に設定することが可能となる。